

最優秀賞

男女仲良くしよう

下仁田小学校 六年 黒澤 菜々美

「あつ、好きなんだ。」

少しでも男子と二緒にしていると、そんなふう言われることがあります。別に特別意識しているわけではなくてふつうに話しているだけなのに。私はものすごくいやな気持ちになります。周りにいる人も本当はいやな気持ちなのではないでしょうか。

私たちの学年は、男女が意識しすぎているのです。授業でペアになる時も英語の時間にゲームをする時もレクリエーションでグループを作るときも、男女混ざって組むことがとても難しいのです。

私が、5年の時に男子と遊んでいたときのことです。違う学年の子から「好きなんだ。」「ラブラブ」と言われました。私はそんなつもりはありませんでした。ただ女子と遊ぶより男子と遊ぶ方が楽しかっただけにそう言われて、とてもいやな気持ちになりました。そんなことがあつてだんだん図書室や教室で本を読むことが多くなり、遊ぶなくなつてしまいました。

男女を意識し始めたのは、四年生の頃からです。三年生のときまでは、馬山小学校で男女二緒に遊んでいました。誰も何も言いませんでした。からかったり冷やかしたりされるようなことはありませんでした。でも、なぜか統合してから男女が意識し始めたのです。私はそのころ男子達がドッジボールをしていて入りたいなと思つたけれども入れませんでした。あまりしゃべつたことのない人もいたし変に思われたらどうしようと思ひ声がかけれなかったのです。今ならば「入れて」と言えるような気がします。あの時に戻つて二緒に遊べたらいいのにと後悔しています。

6年生になった今、男女で仲良く遊んだり話したりすることは大切なことだと感じています。男子にも女子にもそれぞれ良さがありません。男女で協力するからできる事もあります。運動会では優勝目指してみんなで協力しました。その時は

男女関係なく力を合わせる事ができたと思っています。修学旅行の班活動では、男女で話し合つてコースを決めました。当日は男子がリードしてくれた時もあったので、学校とは違う新たな二面を見ることが出来ました。男子も学校ではふざけたり騒いだりしているけれど、いざという時にはたよりになるんだなあと思いました。男女関係なくみんな協力したことはとてもいい経験になりました。私たちのクラスも少しずつ男女なかよくなつてきたように思います。

私は、男女で仲良く遊び話せるようになるために、自分から積極的に行動したいと思つています。外で遊んでいる男子に「入れて」と自分から声をかけ、ほかの女子も誘つて二緒に遊びたいです。教室でも自分から話しかけたり笑いかけたりしたいです。自分から行動することできつと変わつていくと思ひます。

もうすぐ2学期も終わります。あと3ヶ月でこのクラスも解散します。小学校最後のこのクラスで最高の思い出を作りたいです。そのためには、男女で仲良くすることが必要なだと私は思ひます。男子は男子、女子は女子でかたまると、男女でも話が出来た方が絶対に楽しいと思ひます。それでもまだ「ラブラブ」という人がいたら、「相手の気持ち考へて」「男女で仲いい方が楽しいよ」と言つてあげたいです。そして、その人も誘つて男女で二緒に話したり遊んだりしたら、きつと考へ方も変わるはずだと思ひます。男女のお互ひの良さを認め協力できるようになつたら、毎日楽しく充実したものになると信じています。

人権尊重親子標語(小学校低学年)

最優秀賞

心のめがねで みんなのいいところ みつけよう

下仁田小学校 二年 黒澤 遥斗

最優秀賞

「命の大切さ」

下仁田中学校 三年 永井 歩

私は人の命がとても大切なものだと思います。そして、かけがえのないものです。

ニュースや新聞などで「いじめ」「殺人」「自殺」という言葉などを聞きます。命を粗末にするのはとても悲しいことです。子どもが自殺してしまうのはなぜなんだろうと思います。たくさんの理由があると思います。友達からいじめられていた、友達付き合いでの悩み、けんか、家庭でのこと、他にもあると思います。でも大切な命を簡単になくしてはいけません。この世に生まれてこれなかった人もたくさんいるのです。そして、交通事故や病気で命がなくなってしまう人たちもたくさんいるのです。その中で、一九四五年に原爆が長崎県と広島県に落とされてしまいました。原爆で亡くなってしまった人は十四万人以上と聞いたことがあります。その人たちは、何も知らないで、いつものように生活していただけに、原爆が落ちて、たくさんの人が亡くなりました。その亡くなった人たちは、いつものように一日が過ぎてまた明日がくると思っていたと思います。それなのに明日はこないで、明日はなくなってしまうのです。そして、原爆で生き残った人もたくさんいると思います。その人たちは、家族が死んでしまった人、家が焼かれた人それぞれだと思います。その人たちは、食べ物も少ししかなかったり、住む所がなかったり、服などなかったり、不便なことばかりだったと思います。その中に生きていた人はとてもすごいと思います。それに、友達、家族が原爆で亡くなってしまった人たちがいると思います。その人たちは、心の中が複雑になると思います。そんな環境の中生き続けた人はすごいと思います。

東日本大震災でも、震災や津波、原発たくさんの大きな災害が起こりました。街全体が崩壊されたり、たくさんの人が亡くなったり、とても悲しいことです。でも、たくさんの人たちが二次災害を防ぐために今日も、危険な福島原発で働いて

いる人達がいいます。そしてまだ、家族を探す人は、いつもいつの時代でも、大きな傷を受けていても立ち上がっている人達がいる。頑張っている人達がいるから、助けてくれる人があるから、悲しくても涙をかみしめて立ち上がって、今を生懸命生きていくのだと思います。

震災で亡くなってしまった人は生きたくても生きれなかったのに、自殺などで自分の命を粗末にしてはいけません。大変なことがあっても、頑張っている人がある。助けてくれる人がある。と思つて、死なずに頑張つてほしいです。

悩みや不安があつたら二人では解決しようとせずに、友達、家族、誰でも相談できる人に相談して、命を大切にしたいです。命があれば嫌なこともあるけど、良いこともたくさんあると思います。

自分のしたいこと、夢に向かって頑張つて欲しいです。

最優秀作品

人権ポスターの部(中学校)
下仁田中学校 1年 吉田 夢佳

